

令和7年7月31日
(資料提供)

(事務担当)
所属名：農林総合研究センター 農業試験場 中央普及支援センター 病害虫防除室
直通：257-6972

令和7年度病害虫発生予察 注意報第3号

今後多発生が予想される水稻の斑点米カメムシ類の発生時期や発生量、防除上の注意事項について掲載します。

1 注意報の内容

病 害 虫 名：斑点米カメムシ類
(クモヘリカメムシ、アスジカシカメ、ホソハリカメムシなど)
対 象 地 域：県内全域
水田侵入時期：7月中旬以降
発 生 量：多

2 注意報発表の根拠

- (1) 水稻ほ場における斑点米カメムシ類の発生は、40回すくい取り調査による成虫数が24.4頭(平年値：9.6頭)で多い。
- (2) 種類別では、クモヘリカメムシの成虫数が10.2頭(平年値：4.3頭)、アスジカシカメの成虫数が6.9頭(平年値：2.8頭)、ホソハリカメムシの成虫数が2.9頭(平年値：1.3頭)と多い。
- (3) 向こう1か月の気象予報(令和7年7月24日付、新潟地方気象台発表)によると、8月の気温は高いと予想されており、水田への侵入や加害が多くなると推測される。

3. 防除上の注意事項

- (1) 出穂7～10日後と14～17日後の2回の防除を徹底する。
- (2) 出穂後の草刈りは、本虫のほ場内への侵入を助長するので避ける。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。
また、周辺作物への飛散防止に留意する。